

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	●研究の名称 慢性肝疾患における抗酸化ストレス応答転写因子 Nrf2 と関連因子の発現と病態についての検討 ●研究の対象 1995 年 1 月から 2014 年 7 月まで浜松医科大学附属病院肝臓内科で加療された B 型慢性肝炎、C 型慢性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、非アルコール性脂肪性肝炎の方。 ●研究の目的 抗酸化ストレス応答転写因子 Nrf2 は酸化ストレスに対する生体防御機構の中心的役割を担い、酸化ストレスに曝されると Nrf2 の活性化が誘発され、Nrf2 の標的遺伝子群を統一的に転写誘導することで酸化ストレス防御能を発揮します。 ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患などの慢性肝疾患の病態の一つに酸化ストレスの発現の亢進が深く関与しています。しかし、慢性肝疾患における Nrf2 や関連因子の役割については未だ不明な点が多いです。 本研究では、当科で凍結保存されている慢性肝疾患症例の血清や肝生検組織を使用し、血清や組織中の Nrf2 と関連因子を測定し、疾患ごとの比較検討を行い、慢性肝疾患における新たな治療基盤の創出を目指します。 ●研究の期間 2014 年 8 月～2024 年 7 月 ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供	●研究に使用する試料・情報：血液、手術もしくは肝生検

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

する試料・情報の項目	組織、検査成績等
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松医科大学 内科学第二講座 川田一仁
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：肝臓内科 担当者：川田一仁 TEL : 053-435-2263 FAX : 053-435-2354 E-mail: hamamatsu.liver@gmail.com

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書